

指宿市

# 福元区自治会

## 団体の紹介・活動の目的

7つの集落からなる福元区は、指宿市の南東部に位置し、居住地の他にも小学校、畑作地帯や温泉施設を有する436世帯894人の地域です。

地域活動がこのままでは成り立たなくなるという危機感から、コミュニティづくりに取り組み、地域づくりアンケート、話し合い活動、講演会・研修視察を経て、地域の理想像を「徒歩で暮らせる住みよいまち、伝統と人のつながりが生きる様々な人に開かれた福元」とし、地域コミュニティ事業として8つの取り組みが生まれ、これまで、「前向きな話し合い」、「出来る人が出来ることをする」を大切にした取り組みを行っています。

## 活動の内容

地域コミュニティ事業の取り組みは、地域住民の話し合いの中から誕生した、課題解決に向けた取り組みです。特に、区の公民館で児童を受け入れる取り組みである「山川子どもクラブ」は、校区に学童保育施設がなかったことから、高齢者のボランティア協力をもらい、放課後や長期休業期間の子どもの居場所作りとして始まり、現在、市の補助金を活用し、専門の支援員を雇用し、運営しています。この取り組みを通し、住民である子ども、保護者、高齢者が顔と顔の見える関係を築くきっかけとなっています。

## 連携・協力している団体など

指宿市立山川校区公民館

指宿市役所健幸・協働のまちづくり課 等

1



### 「子育て世代のみなさんと会合」

地域課題を具体化する。(だれが、何に困っているのか？なぜ困っているのか？何に、どう取り組むか？)

2



### 「山川子どもクラブ」

地域の高齢者の方に、分からないところを教えてもらいながら宿題に取り組んでいます。

3



### 「盆踊りを復活させる」

途絶えてしまった地域の盆踊りを復活させて、幅広い年齢層で楽しんでいます。

4



### 「伝統行事「亥の日」の継承」

1つの集落でしか行われなくなっていた亥の日の石突きを、区全体で行事として行い、途絶えさせないように取り組んでいます。

# 濱田酒造株式会社

## 団体の紹介・活動の目的

当社は、明治元年に創業し、焼酎を製造している企業です。「自立自興の企業を目指し、且つ心を高める場たらんとす」を経営理念とし、『伝統』『革新』『継承』という焼酎づくりの理念を体現しています。美味しい焼酎をお客様にお届けすること、また地域の歴史・文化を継承していくことを企業の使命と考え、様々な活動に取り組んでいます。

当社は、平成16年から三島村のサツマイモを使った焼酎づくりを当社の蔵で製造してきましたが、三島村の島内で焼酎をつくりたいという企画に賛同し、焼酎蔵の設備の選定、焼酎づくりの技術支援及び助言等をとおして地域活性化に貢献します。

## 活動の内容

私たちは、三島村で製造できる規模の設備選定及び動線を踏まえた設備配置等の助言、また杜氏の研修を当社で行い人材育成を行っています。

平成30年10月から焼酎製造が始まり仕込みの時期には、当社の従業員3名を派遣し実際に製造工程を通しながらの技術指導を行いました。

今後も焼酎を製造する事によって地域活性化に取り組む三島村と連携をしながら貢献したいと考えます。

## 連携・協力している団体など

三島村

①



「杜氏の研修」

三島村の杜氏に、平成29年9月から3ヶ月間濱田酒造(株)伝兵衛蔵にて焼酎づくりの研修を行いました。

②



「三島村にある焼酎蔵」

濱田酒造株式会社監修のもと建てられた「みしまの焼酎 無垢の蔵」の焼酎蔵です。

③



「焼酎製造設備の操作説明」

製麹ドラムの水蒸気配管流動の説明及び仕込み作業時のバルブの操作説明を行いました。

④



「焼酎製造過程の技術指導」

実際の焼酎製造の流れを通しながらその過程において技術指導を行いました。

# 「小さな親切」運動鹿児島県本部

## 団体の紹介・活動の目的

当団体は県内の金融機関・福祉関係・一般企業・警察・県行政機関・学校など121の団体と16名の個人で構成されています。

敗戦後の精神面の再建策として茅誠司氏（東大学長）ら有識者の提言による「思いやりの心を育てる」運動です。昭和38年の発足以来、各都道府県に本部が設立されて活動が開始されました。主な活動は、「いつでも どこでも だれでも」できる小さな親切の実行者に「小さな親切」実行章を贈呈しており、この活動を通して、思いやりの心を育む精神文化を高めていこうとするものです。

鹿児島県本部は昭和49年に設立され、平成30年で44年になり、同年10月12日（金）に鹿児島県社会福祉センターで「小さな親切」運動鹿児島県大会を開催しました。

## 活動の内容

「小さな親切」運動鹿児島県本部の活動内容をお知らせしたいと思います。

- ① 「小さな親切」実行章の贈呈
- ② あいさつ運動「みんなつながろトモダチ作戦」の取組
- ③ 保育園・福祉施設へ七夕飾りを持参しての交流会の実施（県内18園）
- ④ 日本列島クリーン大作戦、コスモス・ひまわり大作戦の取組

## 連携・協力している団体など

県内各市町村社会福祉協議会

①



### 「小さな親切」実行章の贈呈

「小さな親切」実行章を受章された福宿玲子さんは、日置市の地元に伝わる民話や昔話に自作の絵を付け、子どもたちに読み聞かせる活動を約25年続けています。

②



### 「あいさつ運動「みんなつながろトモダチ作戦」の取組

県下25校で毎朝子どもたちが、たすきを着けて、あいさつ運動に取り組んでいます。この写真は、始良市立帖佐中学校の取組です。

③



### 「保育園等との七夕かざりづくりを通じた交流」

6月中旬から7月初旬にかけて、本部職員や役員が手作り七夕飾りを県内の保育園等に持参して、園生と交流を深めています。（18園）

④



### 「コスモス・ひまわり大作戦の取組」

当運動のシンボルフラワーであるコスモスやひまわりの植栽活動は結成当初は各地において活発に取り組んでいました。近年は関係団体へ種子の配布を通して、各団体・学校等で取り組んでいただいています。

# 鹿児島県立 市来農芸高等学校

## 団体の紹介・活動の目的

鹿児島県立市来農芸高等学校は、今年で創立84年を迎える農業高校で、鹿児島県の主幹産業である農業を支える人材の育成を目指した学習を展開している。設置学科は【農業経営科】、【生物工学科】、【生活科】の3学科で、それぞれの学科で特色ある活動を実践している。

学校が位置するいちき串木野市は、豊かな自然、歴史と文化などの観光資源に恵まれている。また、豊富な食を活かした「食のまちづくり」を推進しており、地域全体で「食」を活用した地域の活性化を図っている。

そこで、行政や地域企業、研究機関、学校等との協働によって、同校で飼育する黒豚を商品化し、地域活性化を牽引するリーダーの育成および地域の活性化を図った。

## 活動の内容

市来農芸高校のオリジナルブランド黒豚「金の桜黒豚」を開発するためのワークショップを実施。取組は、地元の新商品としていちき串木野市の広報、新聞、テレビ等の多くのメディアで紹介され、市内の小中学校で出前授業や料理教室や、市内の高校生が協力した新商品の開発。そして、県の関係機関などの産官学が連携した活動に広がった。

さらに、いちき串木野市のふるさと納税の返礼品として採用され、平成29年度は159件、平成30年度は精肉と肉加工品を含め429件となった。

## 連携・協力している団体など

いちき串木野市、株式会社 Table of Smile、HINOSASU CREATIVE OFFICE、味工房みその、スターゼンミートプロセッサ株式会社、鹿児島県農業開発総合センター畜産試験場、国立大学法人鹿児島大学、鹿児島県串木野高等学校、学校法人神村学園高等部、いちき串木野市立川上小学校

1



### 「オリジナルブランド開発のワークショップ」

市来農芸高校で育てた黒豚の特徴について意見を交換し、生産者の思いが見えるブランド名の検討

2



### 「完成したオリジナルブランドロゴ」

いちき串木野市「金の採掘」。豚の足跡「桜の形」。学校のイメージ「桜」。高校生「金の卵」。青春と貴重を表現

3



### 「小学生との料理教室」

地元小学校で「命」についての出前授業と料理教室。体験的な活動で、農業への理解を深める。

4



### 「ふるさと納税のウェブページ」

いちき串木野市のふるさと納税の返礼として、自治体と学校が連携した取組を全国へ発信している。

日置市

# 飯牟礼地区公民館

## 団体の紹介・活動の目的

当地区は、約450世帯、1000人の小学校区であり、7自治会で構成されています。

「地区民の総合力で創ろう活気あふれる地域づくり」を基本理念として、飯牟礼のファンをつくりながら、地域の活性化をめざしています。

## 活動の内容

地域のシンボル諸正、矢筈の両岳に着目し、誰でも安全に登山ができるよう整備した。登山道を活かした登山大会も開催し、交流人口の増を図った。遊休農地で栽培したさつま芋を使ったり、オリジナル焼酎「矢筈」「諸正」等の特産品を開発したりした。

## 連携・協力している団体など

飯牟礼下自治会、腰自治会、善福自治会、飯牟礼上自治会、飯牟礼中自治会、古城自治会、恋之原自治会

①



### 「飯牟礼地区焼酎造り芋苗植付」

遊休農地（2カ所、1反4畝）を借用して、焼酎原料となるコガネセンガン（2900本）を館長を始めとして、自治会役員や高齢者クラブのメンバー、有志の方々20名が参加して植えつけを行いました。しかし、植え付け後に気温が高い日が続き、40%が枯死したので、5月25日（金）に1000本を植え替えしました。

②



### 「飯牟礼地区焼酎造り収穫」

市役所から2名の応援も含めて、24名で芋掘りを行いました。芋畑消毒、い肥散布、刈り等の手入れをした甲斐があって、病気も入らず、出来柄も良く、2264kgの収穫でした。写真は、鹿児島草牟田の幼稚園生の様子です。高齢者クラブがお世話しています。

③



### 「飯牟礼地区 登山（山頂）」

諸正岳山頂（301m）から、快晴に恵まれ遠くに桜島がはっきりと望めました。山頂では、登山者がめいめいに特製竹皮おにぎり弁当や飲み物を摂られ、素晴らしい眺望に大満足の様子でした。

④



### 「飯牟礼地区 登山（出発）」

午前10時に、飯牟礼小学校を矢筈コース・諸正コース・縦走コースに分かれて、総勢300名、一斉に元気よく出発しました。まずは、矢筈岳（302m）を目指します。約1時間30分～2時間の所要時間で、自分のペースで飯牟礼地区の緑溢れる自然、心豊かな人々との触れ合いをお楽しみいただきました。